

学校自己点検・自己評価表（アーティスティックB横浜美容専門学校） 令和6年度

(評価期間：2024年4月1日～2025年3月31日)

1. 学校の教育目標

「わが学園は、教育を通して「努力心」「誠実心」「独立心」を養い、平和社会の建設に貢献する人間を育成することを使命とする」 本学園の建学の精神を基に、

①美と健康と癒しをテーマに、感性とロジックを融合させた教育を展開します。
 ②アーティスティックでビジネスマインドをもった美容師、ネイリスト、メイクアップアーティスト、ビューティーアドバイザー、エステティシャンを育成します。
 ③職業訓練学校の原点に立ち戻り、就職率を高め同時に就職後の定着率の高い人材育成に努めます。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- ①働く意識の涵養を目指したビジネス教育の充実と自己啓発の促進
 ②教育ストーリーに沿った楽しい教育の実現と在学生の退学率の低下
 ③早期独立の目指すサロン実習及びモデル実習
 ④授業カリキュラムの見直し及び産学連携教育の強化

3. 評価項目の達成及び取組状況

1 教育理念・目標			適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切	評価
1	1	中項目	理念・目標・育成人材像（教育理念（建学の精神）・目的・目標、育成人材像等が明文化されているか。職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や方針、内容等が盛り込まれているか）				
1	1	1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4	3	2	1
1	1	2	学生・保証人（保護者）に対して教育理念等を明文化し、周知しているか	4	3	2	1
1	1	3	教職員に対して教育理念等を明文化し、周知徹底を図っているか	4	3	2	1
1	1	4	学外の方に対して教育理念等を明文化し、公表しているか	4	3	2	1
1	2	中項目	教育の特色（社会や関連業界のニーズを踏まえた将来構想を描いていますか）				
1	2	1	各学科の教育目標・育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか（コース修了後に学習者がそのコンピテンスのレベルを必要とする目的や状況が明確にされているか）	4	3	2	1
1	2	2	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか（学校の将来構造を描くために、業界の動向やニーズを調査しているか）	4	3	2	1
1	2	3	学校における職業教育の特色は明確になっているか	4	3	2	1

①課題

特になし

②今後の改善方策

岩谷学園教育システム（入学から卒業まで）①目指す人材像②教育ストーリー③シラバス④資格修得⑤キャリア指導等、毎年改善を行っていくことを継続する。また、これからの時代を捉えた美容業界の動向など情報を収集しながら適宜外部の見識者のアドバイスを参考に見直しを図る。

③特記事項

特になし

2 学校運営			適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切	評価	
2	1	中項目	運営方針（運営方針は教育理念等に沿ったものになっているか）					
2	1	1	教育方針や教育目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	3	2	1	4
2	1	2	運営方針を教職員に周知しているか、また必要に応じてその理解の状況を把握しているか	4	3	2	1	4
2	2	中項目	事業計画（事業計画を作成し、執行しているか）					
2	2	1	運営方針に沿った事業計画を策定し共有しているか	4	3	2	1	4
2	2	2	学校の年間スケジュールはあるか	4	3	2	1	4
2	3	中項目	運営組織（運営組織や意思決定機関は効率的なものになっているか）					
2	3	1	寄付行為、理事会会議規定等（法人）、学校の運営規則等が整理され、それらに従って理事会・評議員会（法人）、学校の運営会議等が開催されているか	4	3	2	1	4
2	3	2	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	3	2	1	4
2	3	3	組織機能図があるか	4	3	2	1	4
2	3	4	運営会議（教職員会議・教員会議等）が定期的に開催されているか	4	3	2	1	4
2	3	21	出退勤管理簿があるか	4	3	2	1	4
2	3	22	教職員の健康診断がされているか	4	3	2	1	4
2	3	41	施設設備の保守・管理が定期的に行われているか	4	3	2	1	4
2	4	中項目	教職員の評価・育成（教員及び教員の能力評価・能力向上に向けた取組みを行っているか）					
2	4	1	資格・要件を備えた教員を確保しているか	4	3	2	1	4
2	4	2	現に教員数が充足していない場合、採用活動を行っているのか、または教員資格等取得に向けた教育・指導を行っているのか	4	3	2	1	3

2	4	3	授業評価の実施・評価体制はあるか	4	3	2	1	4
2	4	4	教員の組織体制を整備しているか	4	3	2	1	4
2	4	21	教員の能力開発のために研修等が行われているか	4	3	2	1	4
2	4	22	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成等資格向上のための取組みが行われているか（研修等の効果を評価し、文書により記録しているか）	4	3	2	1	4
2	4	23	教育の成果（学修結果）に基づく教員面接を実施しているか	4	3	2	1	4
2	4	24	「職業実践専門課程」専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、実務に関する研修や指導力の研修・向上のための研修等を教員の業務経験や能力、担当する授業や業務に応じて組織的に計画的に受講させているか	4	3	2	1	4
2	4	25	教員に対して、割り当てられた職務及び責任、学習サービスの評価結果、本人の専門能力開発のニーズに対する意見を考慮に入れ、専門能力開発の計画を作成している（教職員研修計画）	4	3	2	1	4
2	4	41	教育内容の改善を図るために、教職員と非常勤講師等との定期的な情報交換をおこなっているか	4	3	2	1	4
2	5	中項目	人事・給与制度（人事・給与に関する制度を確立しているか）					
2	5	1	人事に関する制度を整備しているか	4	3	2	1	4
2	5	2	給与に関する制度を整備しているか	4	3	2	1	4
2	5	3	昇給・昇格制度は文書化されているか	4	3	2	1	4
2	5	4	採用制度は文書化されているか	4	3	2	1	4
2	6	中項目	情報システム（情報システム化等による業務の効率化が図られているか）					
2	6	1	情報システム等による業務の効率化が図られているか（情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか）	4	3	2	1	4

①課題

安定した人材の確保と定着が重要。特に教員は専門的な技能や経験と、教員としての教育力（学生指導・就職指導・資格試験指導等）が必要不可欠となる。人材育成は長期的な準備が必要であるため、欠員に対する対応は難しい。

②今後の改善方策

教員としてのやりがいや、専門的分野以外の問題に対応できるサポート体制の充実を図る。特にシステム的な変更や対応ができるように内容については、継続的に改善する。

③特記事項

特になし

3 教育活動				適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切	評価
3	1	中項目	目標の設定（教員理念、教育目標および育成人材像に沿った教育課程を構成・実施しているか）					
3	1	1	教育目的および育成人材像に基づき教育課程の編成・実施方針（カリキュラムポリシー）を明示し、また学校構成員（教職員及び学生等）に周知し、社会に公表されているか。また定期的に検証を行っているか	4	3	2	1	4
3	1	2	教育理念、育成人材像や業界ニーズを踏まえた教育機関としての就業年限に対応した教育到達度レベルや学習時間の確保が明確にされているか	4	3	2	1	4
3	1	3	教育目標および育成人材像に基づきディプロマポリシーを明示し、また学校構成員（教職員および学生等）に周知し、社会に公表されているか。また、定期的に検証しているか	4	3	2	1	4
3	2	中項目	教育方針・評価等（各学科の教育目標、育成人材像に向けて、体系的なカリキュラム作成など取組がされているか）					
3	2	1	教育理念・到達目標に沿って学科等のカリキュラムは体系的に構成されているか	4	3	2	1	4
3	2	2	講義および実習に関するシラバスは作成されているか	4	3	2	1	4
3	2	3	各科目の一コマの授業について、その授業シラバスが作成されているか	4	3	2	1	4
3	2	4	シラバスあるいは講義要項（作成されていればコマシラバス）などが事前に学生に示され（あるいはホームページなどで公開されて）、授業で有効活用されているか	4	3	2	1	4
3	2	21	適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか（教育内容およびその評価項目、手段、スケジュールが適切か）	4	3	2	1	4
3	2	22	質保証を目的とした授業や学習の定期的な観察を実施しているか	4	3	2	1	4
3	2	23	学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか（学修の目的を満たしているか、満足度を含めて定期的に確認しているか）	4	3	2	1	4
3	2	24	評価結果を教員にフィードバックするなど、その結果を授業改善に役立てているか	4	3	2	1	4
3	2	41	カリキュラム作成のために複数のメンバーによりカリキュラムの作成が行われているか（カリキュラム作成委員会等）	4	3	2	1	4
3	2	42	カリキュラム作成メンバーの中に業界関係者など外部関係者を入れているかまたは意見を取り入れているか	4	3	2	1	4
3	2	81	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発など実施されているか	4	3	2	1	4
3	2	82	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技、実習等）が体系的に位置づけられて、その内容、評価などが事前に決められているか	4	3	2	1	4
3	2	83	「職業実践専門課程」専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、演習・実習を行っているか	4	3	2	1	4

3	2	84	企業・施設等での職場実習（インターンシップ含む）があるか	4	3	2	1	4
3	3	中項目	成績評価・単位認定等（成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか）					
3	3	1	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	3	2	1	4
3	3	2	学生や保証人（保護者）に対し、成績評価・単位認定の基準、進級要件、卒業要件はきちんと提示されているか	4	3	2	1	4
3	3	3	各規定に基づいて適切に成績評価・単位認定、進級・卒業判定を行っているか	4	3	2	1	4
3	3	4	「職業実践専門課程」専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、学生の学修成果を評価しているか	4	3	2	1	4
3	4	中項目	資格・免許取得の指導体制（資格7・免許取得のための指導体制があるか）					
3	4	1	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中で体系的な位置づけはあるいはあるか（発行する修了証明書の種類及び内容）	4	3	2	1	4
3	5	中項目	キャリア教育等（基礎的・汎用的能力（①人間関係形成・社会形成、②自己理解・自己管理能力、③課題対応能力、④キャリアプランニング能力）を身につけるための取組みが実施されている					
3	5	1	キャリア教育を行い、学生の社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育成しキャリア発展を促しているか	4	3	2	1	4
3	5	21	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組みが行われているか	4	3	2	1	4

①課題

特になし

②今後の改善方策

産学連携による特別研修は今年度も新しく計画・実施をした。今後も可能な限り産学連携によるキャリア教育を含めた質の高い美容教育を目指したい。

③特記事項

特になし

4 学修成果・教育成果			適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切	評価	
4	1	中項目	学修成果（各科の教育目標、育成人材像に向けてその達成への取組みと評価がされているか）					
4	1	1	コース全体を通して、及びコースの修行時に、学習者の習熟状況をアサインメントしているか	4	3	2	1	4
4	1	2	学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか（測定する知識、スキル及び能力、測定の基準、アサインメントの方法は明確か）	4	3	2	1	4

4	2	中項目	就職率（就職率の向上が図られているのか）					
4	2	1	就職率の向上が図られているか（結果を分析し、就職指導・支援の改善を図っているのか）	4	3	2	1	4
4	2	2	学生の就職に関する目標に対して教職員に共有されているのか	4	3	2	1	4
4	2	3	学生の就職活動に関する記録がなされているか	4	3	2	1	4
4	2	4	対外部に向けた就職実績を公表しているか（パンフレット・HP等）	4	3	2	1	4
4	3	中項目	資格・免許の取得（資格・免許取得率の向上が図られているか）					
4	3	1	資格取得率の向上が図られているか（目標とする資格試験等への合格率は全国平均と比較してどうか）	4	3	2	1	4
4	3	2	資格・検定・コンペに関する目標を設定したか	4	3	2	1	4
4	3	3	資格・検定・コンペに関する目標・計画が教員に共有されているか	4	3	2	1	4
4	3	4	資格・検定・コンペ結果に関して検証・報告されているか	4	3	2	1	4
4	3	5	資格・検定・コンペの結果（合格者数・合格率）を公表しているか	4	3	2	1	4
4	4	中項目	社会的評価（卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか）					
4	4	1	卒業生・在校生の社会的な活動及び評価を把握しているか（卒業生の就職後の動向を出来るだけ把握し、卒業後にも就職その他の支援を行っているか）	4	3	2	1	3

①課題

卒業後の動向把握が十分ではない。特に卒業後3年以上になると、就職先を変更することが多く、個人情報や本人の希望等により管理が困難となっている。卒業生が運営する校友会を通して、もう少し学生の状況把握を計画的に推進したい。

②今後の改善方策

校友会の事務局と定期的な情報公開や校友会全体の運営とは異なる学校単位の校友会活動やイベント等も検討する。

③特記事項

特になし

5 学生支援

適切 ほぼ適切 やや不適切 不適切 **評価**

5	1	中項目	修学支援（学生に対する修学支援に関する支援組織体制を整備し、学生が修学に専念し、安定した学校生活を送る事ができるように図っているか）					
5	1		学生への修学支援を適切に行なっているか	4	3	2	1	4
5	2	中項目	就職等進路（就職・進学指導に関する支援体制は整備され、有効に機能しているか）					
5	2	1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか（またそれがきちんと学生保証人（保護者）に周知されているか）	4	3	2	1	4
5	3	中項目	学生相談（学生相談に関する体制は整備されているか）					
5	3	1	学生相談に関する体制は整備されているか（相談窓口が整備されているか）	4	3	2	1	4
5	3	2	学生の面談・相談記録があるか	4	3	2	1	4
5	4	中項目	学生生活（学生に対する経済的な支援体制が整備されているか。学生の健康を担う組織体制はあるか、生活環境支援体制を整備しているか）					
5	4	1	奨学金制度など、学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか。	4	3	2	1	4
5	4	21	学生の健康管理を担う組織体制はあるか（学生の健康診断を実施しているか、また健康相談窓口は整備されているか）	4	3	2	1	4
5	4	41	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1	4
5	4	42	学生の生活環境への支援は行われているのか（学生のアパート探しなど、住環境への支援体制はあるか）	4	3	2	1	4
5	5	中項目	中途退学への対応（退学率の低減が図られているか）					
5	5	1	退学率の低減が図られているのか（受講登録、出欠状況が学習者の減少に関する分析が行われているか）	4	3	2	1	3
5	5	2	退学率の目標は設定しているか	4	3	2	1	4
5	5	3	退学率の低減に関する目標・計画が教職員に共有されているか	4	3	2	1	4
5	5	4	退学者数を公表しているか	4	3	2	1	4
5	6	中項目	保証人（保護者）との連携（保証人との連携体制を構築しているか）					
5	6	1	保証人（保護者）と適切に連携をしているか（保証人のニーズを把握しているか）	4	3	2	1	4
5	6	2	保証人（保護者）との計画的な相談会・面談を行っているか	4	3	2	1	4
5	7	中項目	卒業生・社会人支援（卒業生の動向を把握しているか。社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか）					
5	7	1	卒業生・社会人支援（卒業生の動向を把握しているか。社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか）	4	3	2	1	3
5	7	21	卒業生への卒後教育等の支援体制はあるか（卒業生への講習・研修を行っているか）	4	3	2	1	3
5	7	41	社会人学生のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	3	2	1	4

①課題

学校教育に対する不満で退学する学生はいないが、それ以外の原因で退学者がいる事。

②今後の改善方策

定期的な個別面談の継続と教員の学生指導に関する指導力の向上。またビジネス教育の一環としてもグループワークなどを多く取り入れ、自己と他者肯定感を育む教育の充実。また教職員全体で学生指導をフォローアップする一体感のある組織強化を目指す。また学費に関する相談は柔軟的な対応を志す。

③特記事項

特になし

(7) 学生の受け入れ募集

6 教育環境			適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切	評価		
6	1	中項目	施設・設備等 (施設、設備は教育上の必要性を十分対応できるよう整備されているか)						
6	1	1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか (講義室は学生数、時間割にあわせて、無理なく配備されているか)	4	3	2	1	4	
6	1	2	学生が利用できる参考図書・関連図書は備えられているか	4	3	2	1	4	
6	1	3	教育上の必要性に対した教材・備品を整備しているか	4	3	2	1	4	
6	1	21	分煙・禁煙等に関する規定が文書化・掲示されているか	4	3	2	1	4	
6	1	22	学内の整理・整頓・清掃に関して定期的に管理・チェックがされているか	4	3	2	1	4	
6	1	41	施設・設備の点検、補修等は定期的にまたは適宜行っている	4	3	2	1	4	
6	2	中項目	学外実習、インターンシップ等 (校外の実習、インターンシップ、海外研修について、十分な教育体制を整備していますか)						
6	2	1	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか。	4	3	2	1	3	
6	2	2	実技・実習に先立って、職業倫理や情報の取扱いに関する規程・マニュアルや規則が整備されている	4	3	2	1	4	
6	3	中項目	防災・安全管理 (防災・安全管理に関する体制を整備している。防災訓練等を実施しているか)						
6	3	1	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	4	3	2	1	4	
6	3	2	防災・防犯設備 (非常灯・消火器・警備システム等) が整備されているか	4	3	2	1	4	
6	3	21	定期的に防災訓練を実施しているか	4	3	2	1	4	
6	3	41	学校における安全性の整備を行っているか	4	3	2	1	4	

①課題

学生全員を対象にしたインターンシップ（実地実習）再開及び海外研修旅行の実施。

②今後の改善方策

希望者の学生を対象にインターンシップ（実地実習）を再開できたが、今後は学生全員を対象に再開できるように準備を進め、あわせて海外研修旅行の実施が可能か再検討する。

③特記事項

特になし

7 学生の受け入れ募集				適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切	評価
7	1	中項目	学生募集活動（学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集および入学選抜を行っているか。社会人学生、留学生、障害者等、多様な学生の受け入れについて方針を明確にしているか）					
7	1	1	学生募集活動は、適切に行なわれているか	4	3	2	1	4
7	1	2	入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）を策定し、学校構成員（教職員および学生等）に周知し、社会に公表しているか	4	3	2	1	4
7	1	3	学校案内に、育成人材像、特徴、目指す資格・免許等をわかりやすく紹介しているか	4	3	2	1	4
7	1	4	学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集を行っているか	4	3	2	1	4
7	1	21	入学に関する問い合わせ等に適切に対応する体制がされているか	4	3	2	1	4
7	1	22	学校説明会等による情報提供（育成人材像、評価手段及びその基準、目指す資格・検定・コンペ、学費・教材費等の情報）を行っているか	4	3	2	1	4
7	1	23	入学予定者に対し学習指導・支援等は行われているか	4	3	2	1	4
7	2	中項目	入学選考（入学選考は、適切かつ公平な基準で行われているか）					
7	2	1	学校案内等には選抜方法が明示されているのか（入学に必要な学力、スキル、資格、職業経験などの、前提となる要件が明示されているか）	4	3	2	1	4
7	2	2	学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に入学選抜を行っているか	4	3	2	1	4
7	3	中項目	学納金（学納金は妥当なものとなっているか）					
7	3	1	学納金は妥当なものとなっているか	4	3	2	1	4
7	3	2	学校案内等に、学費、受験料、学修教材の購入費等が明示されているか	4	3	2	1	4

①課題

特になし

②今後の改善方策

特になし

③特記事項

特になし

8 教育内部質保証システム				適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切	評価
8	1	中項目	関係法令、設置基準等の遵守（法令、専修学校設置基準を遵守し、適正な学校運営を行なっているか）					
8	1	1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	3	2	1	4
8	1	2	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	3	2	1	4
8	1	3	関係法令に基づく管理運営に関する学内諸規定を整備し適切に運用しているか	4	3	2	1	4
8	2	中項目	個人情報保護（個人情報に関する規程を整備し、個人情報に対する対応を取っているか）					
8	2	1	学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	4	3	2	1	4
8	2	2	個人情報保護規程が文書化されているか	4	3	2	1	4
8	2	3	個人情報の取扱いについて、教職員に対して周知し、意識づけができるか	4	3	2	1	4
8	2	21	リムーバブルメディア、ウェブサイト等からの情報漏洩防止策を講じているか	4	3	2	1	4
8	3	中項目	学校評価（自己評価・学校関係者評価の実施体制を整備しているか）					
8	3	1	学校教育、学校運営について、自己点検・評価を実施し、さらに課題解決に取り組んでいるのか	4	3	2	1	4
8	3	2	自己点検・評価報告書にまとめているか（自己点検・評価報告書があるか）	4	3	2	1	4
8	3	3	自己点検・評価の組織があるか	4	3	2	1	4
8	3	21	学校関係者評価の実施体制を整備し、学校関係者評価を実施し、改善の取組みを行っているか	4	3	2	1	4
8	4	中項目	改革・改善（各学科の教育目標、育成人材像に向けて自己点検・評価活動の実施体制を確立して改革・改善のためのシステムが構築されているのか）					

8	4	1	自己点検・評価の必要性を全職員に伝える機会を設けたか	4	3	2	1	4
8	4	2	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	3	2	1	4
8	4	3	自己点検・評価の結果に基づき改善計画を策定したか	4	3	2	1	4
8	4	4	自己点検・評価の結果に基づき期限を定めて改善計画に基づいた結果の検証がされたか	4	3	2	1	4
8	4	5	学校関係者評価の結果に基づき改善計画を策定したか	4	3	2	1	4
8	4	6	学校関係者評価の結果に基づき期限をきめて改善計画に基づいた結果の検証がされたか	4	3	2	1	4
8	5	中項目	教育情報の公開（教育活動に関する情報公開を公開し積極的に行っているか）					
8	5	1	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4	3	2	1	4
8	5	21	自己評価結果を公開しているか	4	3	2	1	4
8	5	22	学校関係者評価結果を公表しているか	4	3	2	1	4

①課題

特になし

②今後の改善方策

特になし

③特記事項

特になし

9 財務				適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切	評価
9	1	中項目	財務基盤（学校の中長期的な財務基盤は安定しているといえるか）					
9	1	1	教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財政的基盤を確立しているか	4	3	2	1	4
9	1	2	年度予算、中期計画が策定されているか	4	3	2	1	4
9	2	中項目	予算・収支計画（予算及び収支計画は有効かつ妥当か。予算及び収支計画に基づき、適正に執行管理を行っているか）					
9	2	1	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているのか	4	3	2	1	4

9	2	2	予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っているか	4	3	2	1	4
9	3	中項目	監査（財務について会計監査が適正におこなわれているか）					
9	3	1	私立学校法及び寄付行為に基づき適切に監査を実施し、理事会、評議員会に報告しているか	4	3	2	1	4
9	4	中項目	財務情報の公開（私立学校法に基づき財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか）					
9	4	1	財務情報の公開の体制を整備し、適切に公開しているか	4	3	2	1	4
9	4	2	財務情報の公開について、ホームページに公開するなど積極的に取り組んでいるか	4	3	2	1	4

①課題

特になし

②今後の改善方策

特になし

③特記事項

特になし

10 社会貢献・地域貢献				適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切	評価
10	1	中項目	社会貢献・地域貢献（学校の教育資源や設備を利用した社会貢献・地域貢献を行っているのか）					
10	1	1	学校の教育資源や設備を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	3	2	1	4
10	1	2	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）受託等を積極的に実施しているか	4	3	2	1	3
10	2	中項目	ボランティア活動（学生ボランティア活動を奨励・支援しているか）					
10	2	1	学生のボランティア活動を推奨し、具体的な活動支援を行っているか	4	3	2	1	4

①課題

特になし

②今後の改善方策

現在、一部の高校と教育連携活動の一環でキャリア教育として実施しているが、今後も継続したい。また、学生入学定員に対して可能であることを前提に、協力できる職業訓練は適宜検討するように努める。

③特記事項

トータルビューティー科による高齢者施設へのボランティア活動の実施。

11 国際交流（必要に応じて）			適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切	評価	
11	1	中項目	留学生の受け入れ・海外への留学（留学生の受け入れ、海外への留学における学習支援や生活指導等を適切に対応し、管理体制を整備しているか）					
11	1	1	留学生を受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	4	3	2	1	4
11	1	2	留学生の受け入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続きをとられているか	4	3	2	1	4
11	1	3	留学生の学修・生活指導者等について学内に適切な体制が整備されているか	4	3	2	1	4
11	1	4	学修成果が国内外で評価される取組みを行っているか	4	3	2	1	3

①課題

特になし

②今後の改善方策

特になし

③特記事項

留学生の異文化への理解を深め、習慣を考慮し、衣食住や宗教的価値観を我々教職員が学習する機会は必要と考える。